

# 令和7年度船橋在宅医療ひまわりネットワーク 応用研修（難病編）

船橋在宅医療ひまわりネットワークでは、地域の医療・介護関係者が連携の知識を習得し、連携をマネジメントできること、医療介護に関する仲間のすそのを広げることを目標として研修会を開催しています。

応用研修会では、在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識を習得し、また、多職種（及び多機関）によるチームアプローチや病院・在宅の連携方法等を実践的に学ぶ機会としています。

**令和8年**

開催方法

対面開催

**2月14日(土)**

対面会場

船橋市役所 602会議室

14:00~16:30

対象

ひまわりネットワーク会員  
市内の医療・介護関係者

参加費

無料

定員

70名（先着）

※ この研修は「ひまわりポイント」  
の対象です。

## 1 基調講演

「パーキンソン病等の神経難病患者への多職種  
による在宅支援について」

たかはし

ひろかつ

講師：高橋 宏和 医師

医療法人社団 中條医院 理事長・院長

## 2 グループワーク（事例を用いて）

～パーキンソン病の在宅療養者に対して、  
本人の意思を尊重した多職種支援の在り方を考える～



## 3 質疑応答

申込方法については裏面をご覧ください→



船橋在宅医療  
ひまわりネットワーク

申込期日

令和8年2月8日 (日)

申込方法

次のいずれかの方法により、お申込みください。

1. URLあるいは2次元コード

【URL】 <https://ttzk.graffer.jp/city-funabashi/smart-apply/apply-procedure/7780572817576117923>

【2次元コード】



2. メール宛先：下記の問合わせ先 申込み事項:以下①～⑦

①タイトル「2/14応用研修 難病編申込み」、②お名前（フリガナ）、③勤務先・所属、  
④職種、⑤当日連絡のとれる電話番号、⑥メールアドレス、⑦講師への事前質問（任意）

お問合わせ先

船橋在宅医療ひまわりネットワーク事務局  
(船橋市 地域包括ケア推進課内)

[TEL] 047-436-2558 [FAX] 047-436-1005  
[E-mail] hokatsu-care@city.funabashi.lg.jp

## 人材育成委員会の活動について

船橋在宅医療ひまわりネットワーク人材育成委員会では、医療及び介護専門職等が連携を図る上で必要な知識を習得する機会を以下の研修スキームに沿って設けています。

### 【在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系】

#### R7在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系(暫定版)

【目的】 多職種(及び多機関)による連携により、本人のその人らしさを支える支援を行う

【目標】 本人が満足できる連携の知識を習得し、連携をマネジメント出来る！

すそのが広がる！

○疾患別の特徴等に応じた基礎的な知識(※1)、在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識(※2)を通じて、多職種(及び多機関)連携の必要性を学び、活かす。

○「対話」を通じて、本人の尊厳を守る(本人の選択・決定)支援をどのように行うのか学び、活かす。

○医療・介護関係者が本人の尊厳を意識した多職種協働による一體的な連携(アプローチ)方法を学び、活かす。

#### 【研修体系スキーム】

※2【ひまわり連携応用研修】

- ・在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識を習得する。
- ・多職種(及び多機関)によるチームアプローチや病院・在宅の連携方法等を実践的に学ぶ。

※1【ひまわり連携基礎研修】

- ・疾患別の特徴等に応じた基礎的な知識を習得する。
- ・多職種(及び多機関)によるチームアプローチや病院・在宅の連携方法等の基本を学ぶ。

研修領域は定めず、医療と介護が主に共通する4つの場面「日常の療養支援」「急変時の対応」「入退院支援」「看取り」等の実際の場面を想定した研修。

研修領域

疾患編

悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、難病、感染症など

その他

高齢者特性、緩和ケア（非がんを含む）、災害など

各研修の修了時に「ポイントを取得

ひまわりマイスター認定  
検討中

各団体においては、各職能別・施設ごとに必要な基礎知識を習得できる研修会を実施するとともに、ひまわり研修への参加の働きかけを行う。

【ひまわりネットワークの目指す多職種連携とは】

準備中



船橋在宅医療  
ひまわりネットワーク